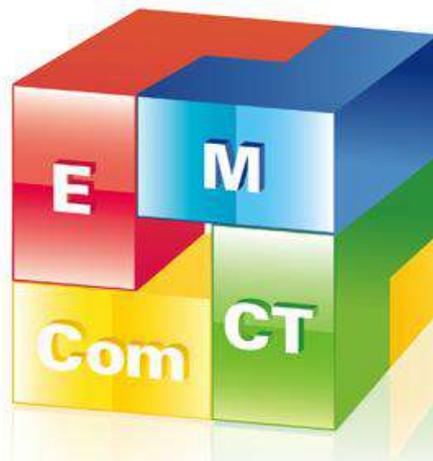


2021年3月期 第2四半期連結決算説明資料

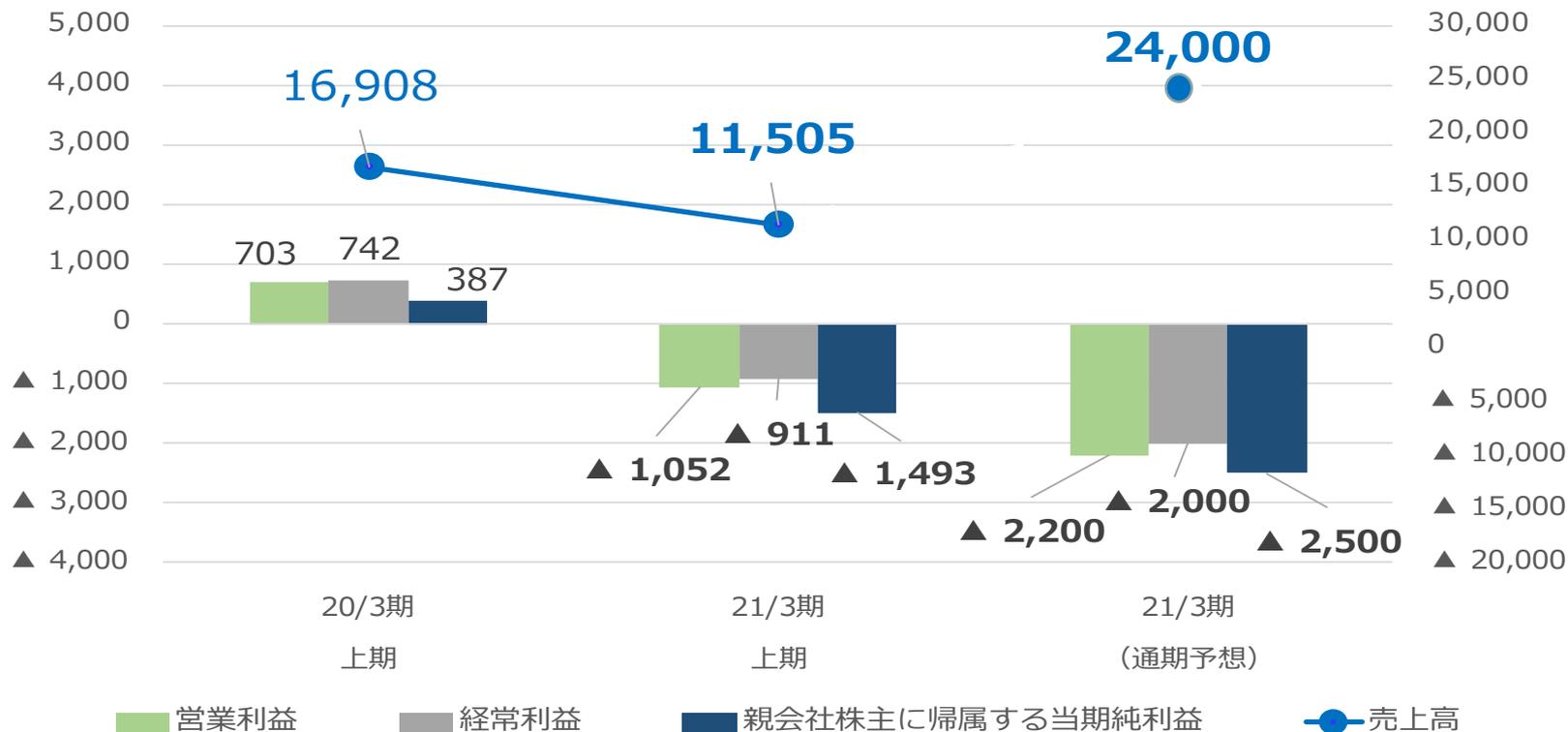
NEW オリジン *NEW* ステージ



2020年11月19日
株式会社オリジン
証券コード：6513

第2四半期累計決算及び通期業績予想

(単位：百万円)



- 21/3期上期は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり大幅な減収減益
- 21/3期通期業績予想は、前回発表（2020年8月12日発表）の数値から修正なし

第2四半期累計決算

(単位：百万円)

	20/3期 上期	21/3期 上期	前年同期 増減率
売上高	16,908	11,505	▲ 32.0%
営業利益	703	▲ 1,052	—
経常利益	742	▲ 911	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	387	▲ 1,493	—
		(単位：円)	
1株当たり四半期純利益	60.44	▲ 237.03	

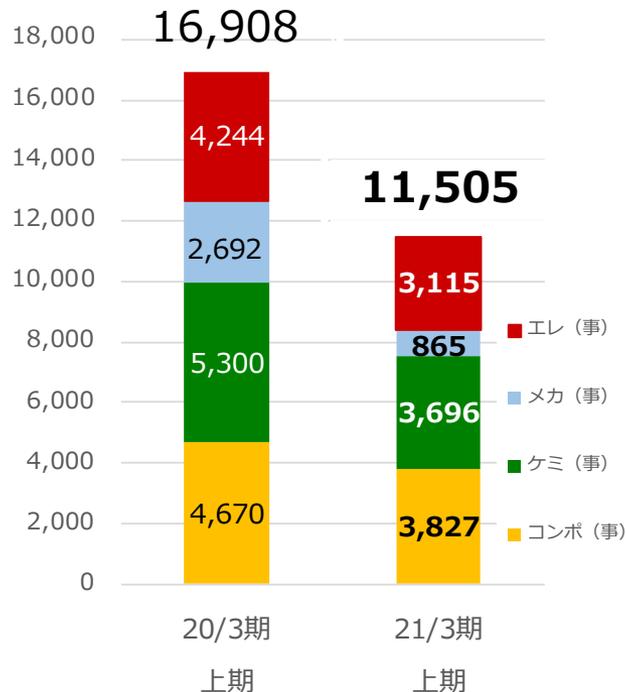
- 新型コロナウイルス感染症拡大の影響等により4事業とも大幅な減収減益。
加えて特別損失3億18百万円を計上。

(本社さいたま新都心オフィスの本社事業所への統合に伴う移転損失引当金繰入額、希望退職者募集の実施による特別退職金、半導体ウエハの外部委託生産による生産設備等の減損損失)

セグメント別売上高、セグメント別利益

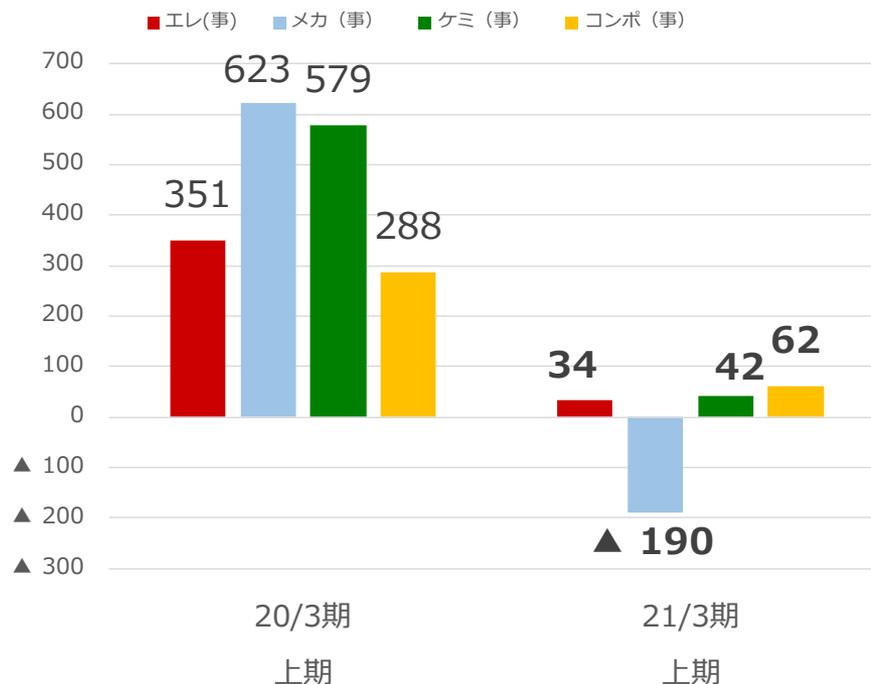
セグメント別売上高

(単位：百万円)



セグメント別利益 (全社費用配賦前)

(単位：百万円)

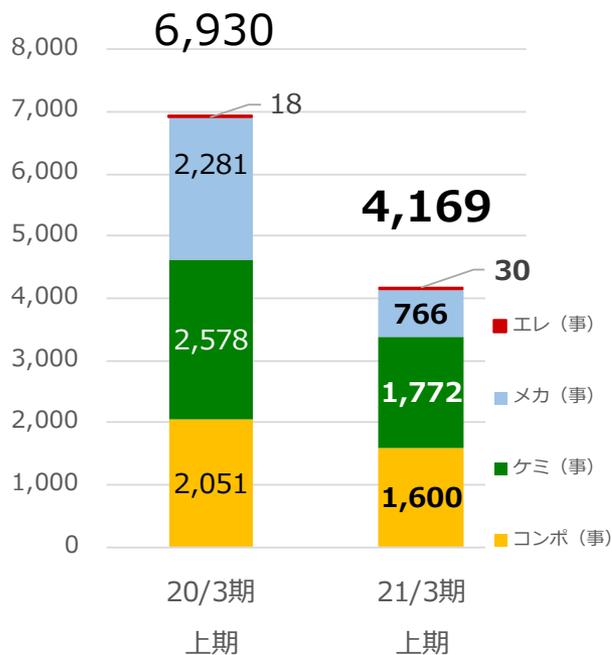


- エレ (事) : 携帯端末向け無線基地局用電源及び環境関連の高圧電源の需要減により減収減益
- メカ (事) : スマートフォン市場の成熟化による需要鈍化や新型コロナウイルス感染症の影響に伴う設備投資の抑制により減収減益
- ケミ (事) : 同感染症の影響に伴う各自動車メーカーの減産や化粧品分野の需要減により減収減益
- コンポ (事) : 在宅勤務等の浸透により、オフィス向け高性能事務機器関係が低迷し減収減益

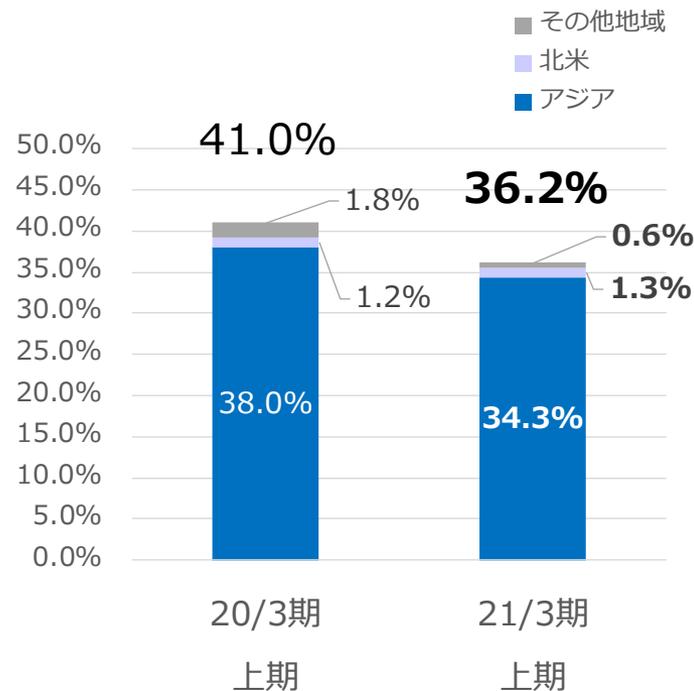
海外顧客向け売上高（セグメント別・地域別）

セグメント別

（単位：百万円）



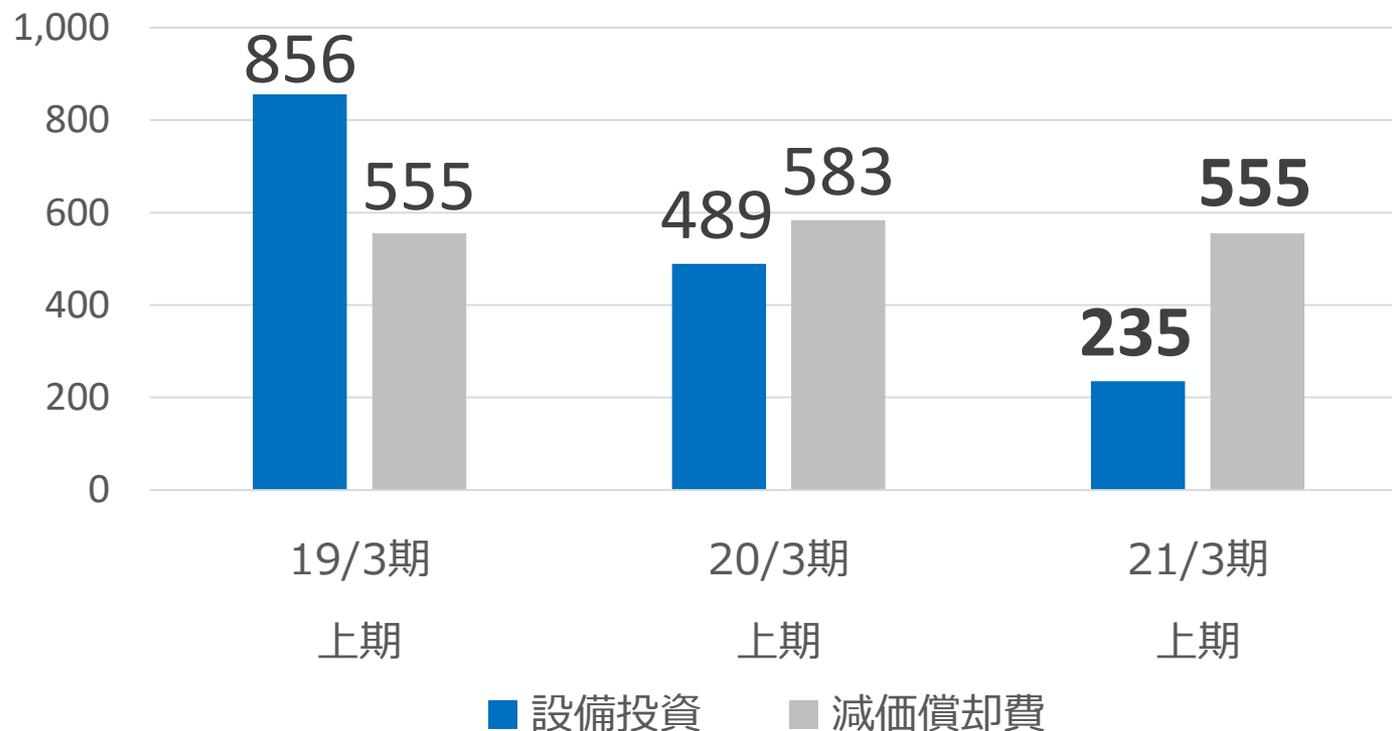
地域別売上高比率



- これまで海外顧客向け連結売上高を押し上げていたメカトロニクス事業のMDB売上及び海外子会社の売上減少により、海外顧客向け売上高・地域別のアジアが大幅減少

設備投資、減価償却費

(単位：百万円)

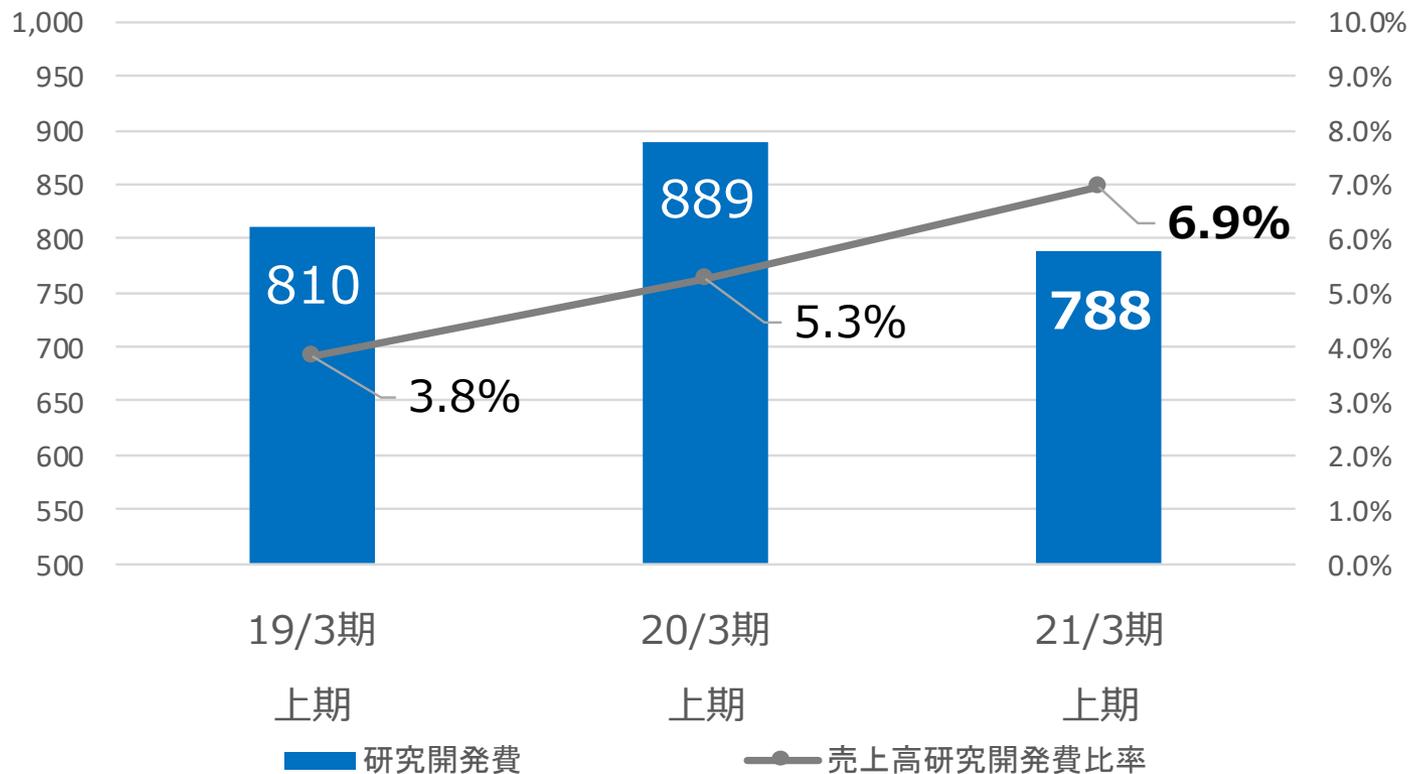


➤ 21/3期上期 主な設備投資

- ・エレクトロニクス事業、コンポーネント事業の試験機・測定器の更新
- ・メカトロニクス事業の実験機

研究開発費、売上高研究開発費比率

(単位：百万円)



➤ 売上高研究開発費比率は、売上高減少により1.3%増加

貸借対照表

(単位：百万円)

	20/3期 期末	21/3期 上期末	前期末 増減額
流動資産合計	26,704	22,244	▲ 4,460
固定資産合計	17,695	17,283	▲ 412
資産合計	44,400	39,527	▲ 4,872
流動負債合計	9,330	7,106	▲ 2,224
固定負債合計	10,190	9,801	▲ 389
負債合計	19,521	16,907	▲ 2,614
純資産合計	24,879	22,620	▲ 2,258
負債純資産合計	44,400	39,527	▲ 4,872
自己資本比率	50.0%	51.7%	1.7%

- 流動資産減少の主な要因：売上債権24億54百万円減少、現金及び預金12億38百万円減少
- 流動負債減少の主な要因：仕入債務19億10百万円減少
- 純資産減少の主な要因：親会社株主に帰属する四半期純損失14億93百万円の計上

キャッシュ・フロー

(単位：百万円)

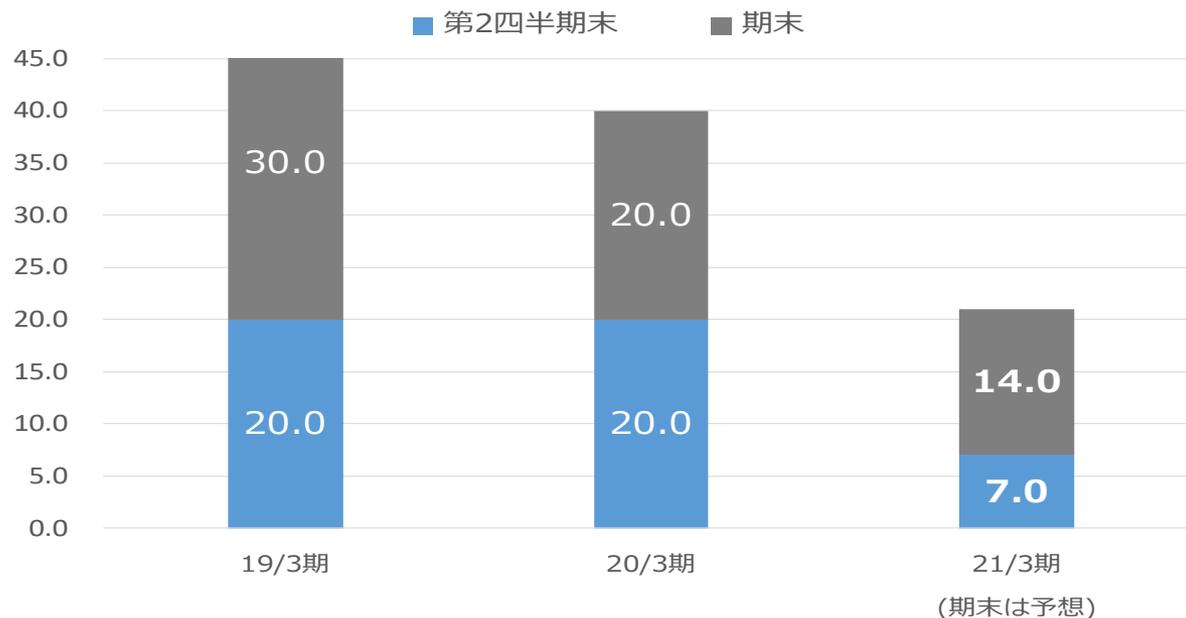
	20/3期 上期	21/3期 上期	前年同期 増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	365	▲ 300	▲ 666
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 1,189	▲ 40	1,148
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲ 210	▲ 1,009	▲ 799
現金及び現金同等物の増減額(▲減少)	▲ 1,089	▲ 1,472	▲ 382
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,331	5,239	▲ 91

主たる要因

- 営業活動によるCF：税金等調整前四半期純損失の計上、仕入債務の減少
- 投資活動によるCF：定期預金の純減額、有形固定資産の取得による支出
- 財務活動によるCF：少数株主への配当金支払、長期借入金の返済

配当の状況

(単位：円)



- 新型コロナウイルス感染症拡大の影響等から大幅な損失を計上する見込みではありますが、安定的かつ継続的な配当の観点等から、21/3期の中間配当金は1株7.0円。また、期末配当金は1株14.0円を予定し、中間配当金と合わせた年間配当金は1株21.0円の予定。

〈自己株式の取得〉

20/3期 2020年2月12日決議 400,000株 (上限) 500百万円 (上限)
 取得期間 2020年2月13日~2021年1月29日
 9月末時点 165,900株 224百万円